

研究課題名	各種便秘治療薬の効果に影響する因子に関する研究
研究責任者名	広島大学保健管理センター 教授 日山 亨
研究期間	2021年11月18日(倫理委員会承認後)～2032年3月31日
対象者	2021年4月から2031年9月の間に、広島大学病院、河村内科消化器クリニック(広島市)、松尾内科病院(三原市)で便秘治療を受けた患者さん。
意義・目的	近年、ルビプロストン、リナクロチド、エロピキシバットといった新しい機序の便秘治療薬が複数開発され、臨床現場で使用されるようになってきています。しかし、それら薬剤の効果に影響する因子についての検討は十分になされていません。その因子を明らかにするため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は性別、生年月、受診日、主訴、診察所見、検査結果(検尿、心電図、腹部エコー検査、血液検査、腹部X線、上部・下部消化管内視鏡検査、CT検査)、診断名、治療法、他院紹介の有無、経過です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
試料・情報の提供機関	愛人会河村内科消化器クリニック(広島市中区大手町1-6-1) 杏仁会松尾内科病院(三原市城町3-7-1) 各機関で個人を特定できる情報を削除し匿名化した情報を広島大学に集め、広島大学(研究責任者 日山 亨)が解析します。
試料・情報の管理責任者	広島大学 教授 日山 亨
個人情報保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合は受診された機関にお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒739-8514 東広島市鏡山1-7-1 Tel: 082-424-6191 広島大学保健管理センター 教授 日山 亨

研究機関：広島大学